

大和の風

【第19号】令和8年1月16日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



学校目標：～夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成～

「いじめゼロ宣言」～全校の誓い～

(ホームページ用では、個人の名前や鮮明な顔写真は載せておりません)

平成18年度に、佐賀市中学校(19校)の生徒会が集まり、「いじめゼロ宣言」をつくり、平成24年度から、各学校の毎学期始業式で、「いじめゼロ宣言」を唱和することとなりました。大和中学校でも、毎学期の始業式に行っています。

【いじめゼロ宣言】

私たちは、佐賀市からいじめをなくすために次のことを実行します。

- ◇ 相手の立場になって 自分の言動を考えます。
- ◇ 悩みがあったら、すぐに相談します。
- ◇ いじめに気づいたら見て見ぬふりをしません。
- ◇ SNSなどを利用して人を傷つけない。
- ◇ お互いを認め合い、相談し合える環境をつくります。

～メッセージ～

○大人の人へ

- ◇ 子どもの異変に気づいてください。
- ◇ 子どもと心から向き合い、コミュニケーションをとってください。
- ◇ 子どもに優しい言葉をかけてください。
- ◇ 子どもが安心できる環境をつくってください。

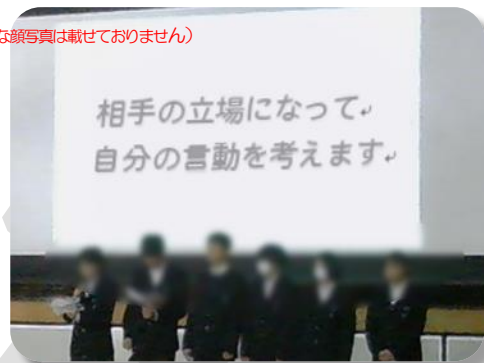
○先生へ

- ◇ 一人一人を見て声をかけてください。
- ◇ 悩みを抱えている生徒は助けを求めています。
- ◇ 生徒が笑顔でも、本当はつらい思いをしているかもしれません。
- ◇ 生徒が安心して相談できる環境をつくってください。

○私たちへ

「いじめをさせない環境をつくっていきましょう。いつかこの宣言を読まなくていいように・・・。」

佐賀市中学校生徒会



(1月8日(木) 始業式にて)

女子剣道部、全国で健闘

昨年12月25日～28日、兵庫県姫路市で開催された〈内閣総理大臣杯授与〉第40回若鷲旗剣道大会に本校女子剣道部が出場し、女子団体で見事第3位に輝きました。全国の強豪が集う中、堂々とした試合で大きな成果を収めました。



「新年席書会」～筆に込める新年の決意～

1月9日(金)、全校生徒が新年の行事「席書会」に臨みました。毛筆では、1年生「実現」、2年生「初雪の里」、3年生「天地創成」を力強く書き上げ、硬筆にも真剣に取り組む姿が見られました。集中した空気の中、一文字一文字に新しい年への決意が込められ、希望を感じる時間となりました。



「ようこそ先輩(1年生)」～小学6年生へのエール～

1月15日(木)、小学6年生の中学校生活への疑問や不安を軽減することを目的として、本校の1年生(代表者)が母校(川上小、春日小、春日北小)を訪問し、大和中学校の学校生活について説明しました。「成長した先輩の話を聞いて、6年生の目がきらきら輝いていました。」とよろこんでいただきました。4月の入学を心待ちにしています。



(川上小)

(春日小)

(春日北小)

3学期始業式「生徒意見発表」

(紙面の都合により、字が小さくなっております)

(ホームページ用では、個人の名前や鮮明な顔写真は載せておりません)

3学期始業式に行った「生徒意見発表」では、3名の生徒がこれまでの振り返りや、3学期の目標について発表しました。

「三学期を迎えて」1年6組 ○○ ○○ さん

ぼくは、三学期を迎え、残りの三か月をどのように過ごしたいのかを話します。ぼくは、勉強がとても苦手です。そのため、テスト前でもテスト勉強や、授業の復習をあまりしていませんでした。そのため、テストの順位はどんどん下がっていき、「このままだったらやばいよな。」というところまで来てしまいました。中間テストでは、これ以上順位が下がらないように前もってテスト勉強をしました。例えば、テスト範囲のワークや教科書の問題を繰り返し解いたり、大事なところをノートにまとめたりしました。そしたら、とてもいい順位を取ることができ、とても嬉しかったです。このことから、きちんとやるべきことをやっていたら、自然と結果はついてくるのだなと実感しました。

次に部活でのことを話します。ぼくはソフトテニス部に所属しています。テニスは未経験で入部したので、最初は不安でしたが、学年別の大会で佐賀市準優勝、県大会でもベスト8の成績を残すことが出来ました。しかし、体力的にきつい場面や、ボールのコントロール、そしてチャンスボールをしっかりと決めることが上手いかない時もありました。その時は、前の大会で悔しかったことやきつかったことを思い出して「県大会出場」を目標に「よし、もっと頑張ろう」と自分に言い聞かせて乗り越えてきました。仲間や先輩とのかかわりの中で、技術や、分からないところを教えてもらい、自分でも成長できたと感じています。これまでの経験を生かし、三学期はやるべきことをきちんと行い、きついことや悔しいことを乗り越えて残りの三か月で二年生に向けてレベルアップしていきたいです。そして、後輩の手本になるような二年生になります。



「最上級生になること」2年3組 ○○○ ○○ さん

僕は地域のスイミングクラブで8年間、社会体育として水泳をしています。クラブの選手コースには僕を含めて約40人の人が所属しています。その中で僕は1月にキャプテンになりました。今までの僕は、2つ上の日本中学記録を出した先輩のようにになりたいという憧れの気持ちが強く、後輩の育成のことをあまり考えていませんでした。しかし、九州の合宿や全国大会、県選抜の遠征などで上級生が下級生と話したりアドバイスしたりしているのを見て、僕もクラブを強くしなければならなかったと考えました。年度が変わって世代交代した後僕は後輩に泳ぎを教えたり、行動を注意したりしていました。しかし、何回言っても変わらない後輩もいて、怒ってしまったこともありました。そこで僕は気づきました。自分と相手の熱量が合っていない。やれと言うだけでは相手は変わってくれないと。一方的に言うだけでは相手は意味を分かってくれないし、なんだこの人?と思うだけです。しかし、相手に目線を合わせ、誰にでも伝わるように説明することで徐々に変わってくれることに気づきました。それからの僕は自分から動いて行動で示し、なるべく優しく接するようにしました。その後、競技力が向上した人もいて、少しでも力になれたかなと思いました。これからは自分の番です。最近あまりタイムが伸びていないのでもう一度全国大会に出られるように練習を本気でがんばりたいです。勉強面でも実力テストで高得点がキープできるようにがんばりたいです。

ぼくが思う最上級生は、一緒にいると安心でき、自然に人がついてくることです。そんな最上級生になるためにも、部活や勉強、日頃の生活を見直していくための期間にこの3学期をしていきたいと思います。そして、大和中を引っ張っていく三年生として来年度はさらに頑張っていきたいです。



「昨年の振り返りと今年の目標」3年4組 ○○ ○○ さん

冬休みが終わり、今日から三学期始まり、三年生は私立高校の入試まで二週間になりました。僕には昨年度頑張ったことと反省したいことが一つずつあります。まず、頑張ったことは、勉強と部活動に文武両道に励むことです。勉強面では、昨年テストの成績があまり良くなかったので、昨年は一生懸命勉強に取り組み、家庭学習の時間を増やしたり、応用問題を解いたりしました。その結果、実力テストやSAGAテストで昨年よりも良い点数を取ることができました。しかしまだ苦手教科が足を引っ張っているので、受験までに克服できるよう今以上に勉強に真剣に取り組みたいと思っています。部活動の面では、僕は陸上部に所属していて短距離のキャプテンを務めていました。そのため、一二年生の時よりも部活動に真面目に取り組みました。しかし、キャプテンとして部員をまとめるのはとても大変で自分の練習にあまり集中できませんでした。キャプテンをして自分の練習に集中できないなら、部活を休んで一人で練習したほうが良いとも思いました。そんな時に友達や後輩がキャプテンの仕事を手伝ってくれたり一緒に走って勝負してくれたりしたおかげで、気持ちが楽になり、練習を楽しめるようになりました。最後の大会ではあと一步のところで決勝を逃して、悔しい思いをしたけど、部活動は「陸上は個人競技だから一人で大丈夫」だと思っていた自分に仲間の大切さを教えてくれました。文武両道にがんばることは、とても大変だったけれど、目標を達成できたので、高校でも文武両道に頑張りたいと思います。

次に反省したいことは、時間にルーズだったことです。一二期は時間ギリギリに登校する日ばかりでした。時間にルーズなことは人からの信頼を失ったり、忘れ物などにつながったりと思うので、これからはもっと時間に余裕をもって行動できるように頑張りたいです。他にも反省したいことはたくさんあるので良くなかった原因を考えて、これからの生活に生かしたいです。

最後に今年の目標は第一志望の高校に入学し、陸上で自分の納得のいく成績を残すことです。絶対に合格するためにこれからは家庭学習の時間を増やしたり、分からないところを先生に聞いて「分からない」をなくしたりして、合格するよう全力を尽くしたいです。陸上では、昨年は悔しい思いや後悔ばかりだったので、今年は今までの倍以上練習して、総体などの大きな大会で良い成績を残して、応援してくれている親やコーチ、友達などに結果で感謝を伝えたいです。



今後、学校 Web や学校だよりでの画像などの掲載で、都合が悪いことがありましたら本校教頭までお電話ください。